

日報データ自動取得システムD T 操作マニュアル

日報データ自動取得システムD Tの各操作方法等についてご説明します。

1. [システム設定](#)
2. [補助機能](#)
3. [D X機能](#) (※別途D Xライセンスのご購入が必要です。)
4. [バージョン・ヘルプ](#)
5. [ライセンス登録](#)
6. [自動実行機能設定](#)
7. [日報設定](#)
8. [取得する日報データの選択](#)
9. [データ取り込み&変換実行](#)
10. [D Xライセンス登録](#)
11. [データ取り込み&変換実行&P D F処理](#) (※別途D Xライセンスのご購入が必要です。)
12. 付録
 - [その他（エラー表示、製品チェック表示、清算チェック表示、実行中表示、ログ）](#)

システム設定



1. 近畿レインズのアドレス

特に変更する必要はありません。

初期値： https://reins.kinkireins.or.jp/reinsip/an0100/an010002_init.do

2. 利用者 I D


近畿レインズ I P 型システムの利用者 I D（12ケタの数字）を入力します。

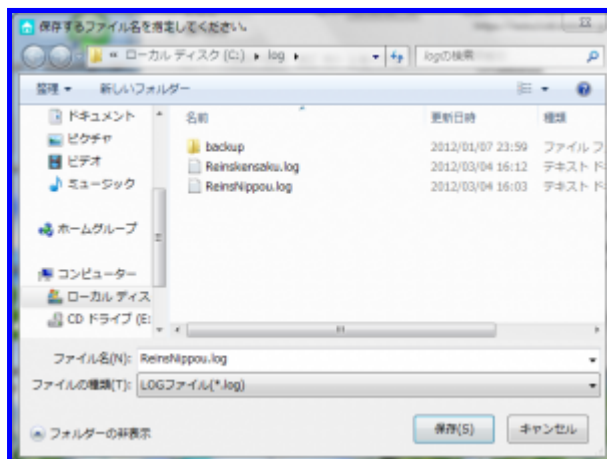
3. パスワード

近畿レインズ I P 型システムのパスワードを入力します。

4. ログファイルの出力先パス名

システムの動作状態を記録するログファイルのパス名を指定します。

- 1)  をクリックします。




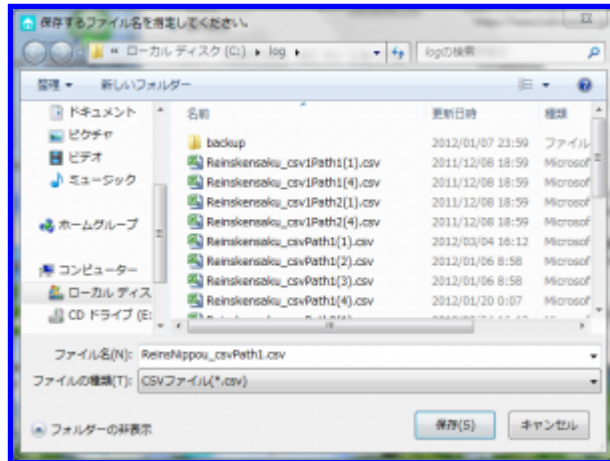
- 2) 保存先フォルダと「ファイル名(N)」を任意のフォルダ、ファイル名に変更します。

3) 「保存(S)」をクリックします。

5. CSV 1 の出力先パス名

日報一覧データのCSVファイルのパス名を指定します。

1)  をクリックします。




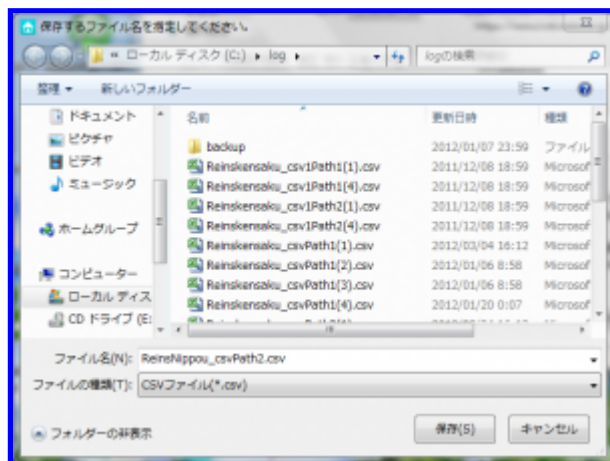
2) 保存先フォルダと「ファイル名(N)」を任意のフォルダ、ファイル名に変更します。

3) 「保存(S)」をクリックします。

6. CSV 2 の出力先パス名

日報詳細データのCSVファイルのパス名を指定します。

1)  をクリックします。




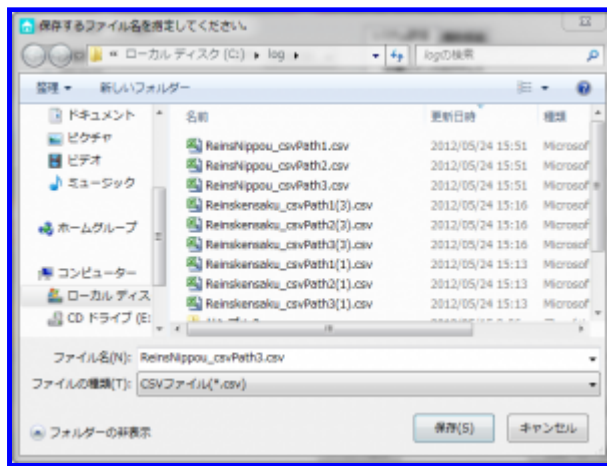
2) 保存先フォルダと「ファイル名(N)」を任意のフォルダ、ファイル名に変更します。

3) 「保存(S)」をクリックします。

7. CSV 3 の出力先パス名 (旧近畿レインズデータ)

旧近畿レインズデータのCSVファイルのパス名を指定します。

1)  をクリックします。

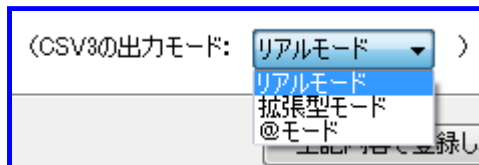


2) 保存先フォルダと「ファイル名(N)」を任意のフォルダ、ファイル名に変更します。

3) 「保存(S)」をクリックします。

8. CSV3の出力モード

CSV3の出力モードを「リアルモード／拡張型モード／@モード」の中から選択します。




●リアルモード・・・旧近畿レインズデータを忠実に再現したモードです。

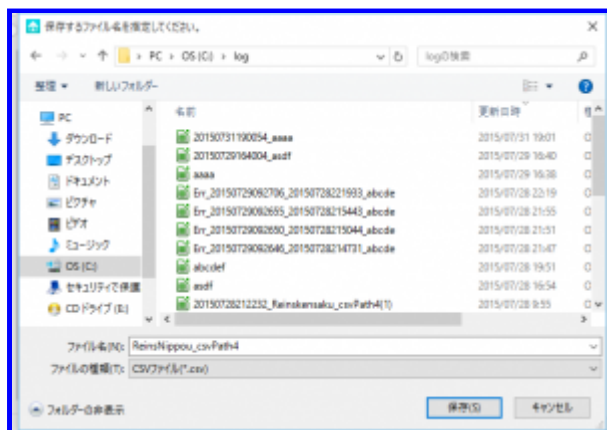
●拡張型モード・・・リアルモードに「FAX、停歩、更新日付」を追加したモードです。物件情報連携システムSEで利用します。

●@モード・・・他社製品の「@dream」向けにデータ項目をカスタマイズしたモードです。

9. CSV4の出力先パス名（物件詳細データ（全項目））

物件詳細データ（全項目）のCSVファイルのパス名を指定します。

1) をクリックします。



2) 保存先フォルダと「ファイル名(N)」を任意のフォルダ、ファイル名に変更します。

3)「保存(S)」をクリックします。

補助機能

1. CSV1, CSV3のみ

「所在地には、番地以降を出力しない。」・・・チェックを付けると、項目「所在地」に番地以降を出力しません。

2. CSV3のみ

「所在地には、都道府県名を出力しない。」・・・チェックを付けると、項目「所在地」に都道府県名を出力しません。

「所在地には、余分なスペースを出力しない。」・・・チェックを付けると、項目「所在地」に含まれる全角スペースを取り除いて出力します。

「ヘッダ情報を出力しない。」・・・チェックを付けると、ヘッダ情報（最初の2行）を出力しません。

3. CSV2, CSV4のみ

「設備条件の複数の半角スペースを1つにする」・・・チェックを付けると、項目「設備条件」に含まれる連続する複数の半角スペース文字を半角スペース1文字で置き換えます。

「設備条件の改行文字を取り除く」・・・チェックを付けると、項目「設備条件」に含まれる改行文字を全て取り除きます。

4. 全般

●データ取込時のウェイト時間調整

データ取込処理において、あまり高速にデータ取得を行うと、近畿レイنزからデータが来なくなることがあります。そのため、データ取得間隔を調整して取り込む必要があります。0～2秒の間で0.2秒間隔で指定できます。通常は、1秒（真ん中）が適当でしょう。


「CSV3出力後にCSV1、CSV2を削除する。」 . . . チェックを付けると、CSV3を出力した後、CSV1、CSV2が削除されます。

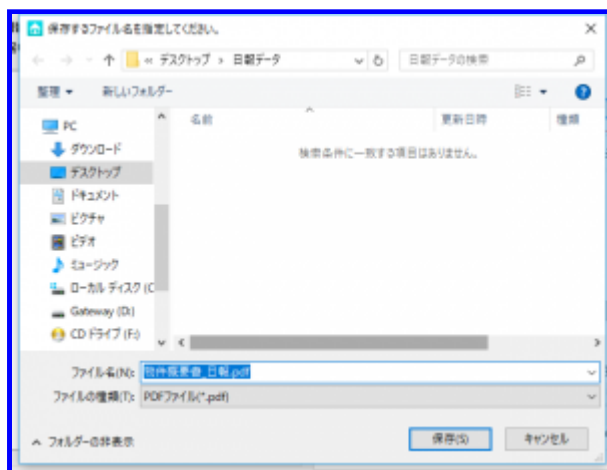
「CSV3出力後にCSV4を削除する。」 . . . チェックを付けると、CSV3を出力した後、CSV4が削除されます。

D X機能

1. 物件概要書出力

物件概要書出力を行う際は、はじめにチェックを付けます。

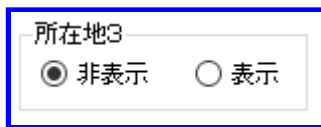
- 1) PDF出力先パス名の右のをクリックします。
- 2) 保存先フォルダと「ファイル名(N)」を任意のフォルダ、ファイル名に変更します。



- 3) 「保存(S)」をクリックします。
- 4) 会員名の表示方法を選択します。


※成約物件を出力する時は、常に会員名は非表示となります。

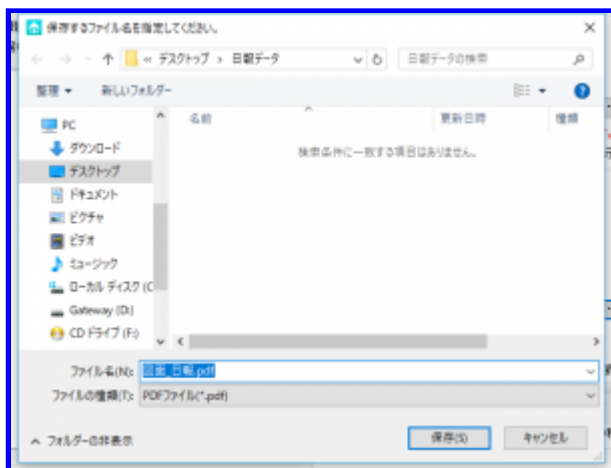
- 5) 所在地3の表示方法を選択します。



2. 図面要求

図面要求を行う際は、はじめにチェックを付けます。

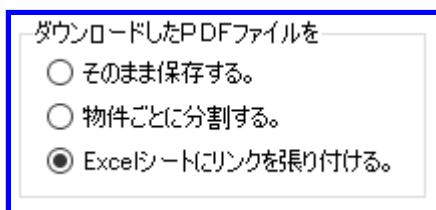
- 1) P D F 出力先パス名の右のをクリックします。
- 2) 保存先フォルダと「ファイル名(N)」を任意のフォルダ、ファイル名に変更します。



- 3) 「保存(S)」をクリックします。

3. P D F の処理

- 1) P D F の処理方法を選択します。



- 2) ダウンロードしたPDFファイルがP D F 出力先パス内で、指定した方法で展開されます。

A) そのまま保存する

ダウンロードしたままの状態です。

基本的には1つのPDFファイルに最大10枚の物件概要書（または図面）が含まれています。

※中には、10枚以上が含まれているケースもあります。

B) 物件ごとに分割する

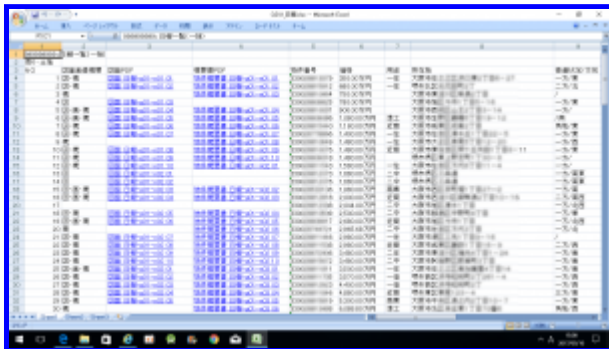
ダウンロードしたPDFファイルを物件ごとに（ページごとに）分割して保存します。

この時、元のPDFファイル名でフォルダを作成し、分割されたPDFファイルは、その中に保存されます。

分割完了後、元のPDFファイルは削除され、フォルダと分割されたPDFファイルだけが残ります。

C) Excelシートにリンクを張り付ける (※開くには、Excel2007以降が必要です。)

上記B) の処理を実行した後、CSV1とCSV3からExcelシートを作成し、物件概要書PDF、および図面PDFへのハイパーリンクを張り付けた後、保存します。



CSV1



CSV3

3) PDFファイル名と作成されるフォルダ名の命名規則

A) PDFファイル名 (分割しない場合)

P D F 出力先パス名のファイル名 -p (一覧ページ番号) -n (一覧ページ内の項番) .pdf

例. 図面_日報-p01-n03.pdf

B) PDFファイル名 (分割する場合)

P D F 出力先パス名のファイル名 -p (一覧ページ番号) -n (一覧ページ内の項番) _ (PDFページ番号) .pdf

例. 物件概要書_日報-p02-n03_07.pdf

C) 作成されるフォルダ名

分割される元PDFの名前が付けられます。

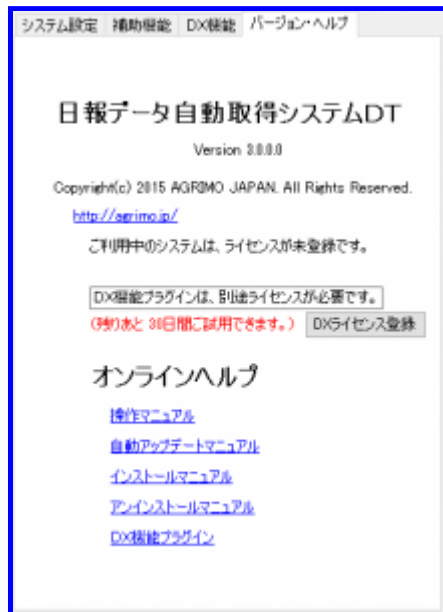
例. 物件概要書_日報-p01-n04

D) PDFファイル名 (分割処理でエラーになった場合 ※1つのPDF内に10ページ以上あった場合)

P D F 出力先パス名のファイル名 -p (一覧ページ番号) -n (一覧ページ内の項番) _ (PDFページ番号) _Err.pdf

例. 物件概要書_日報-p02-n04_01_Err.pdf

バージョン・ヘルプ



1. バージョン情報

現在のバージョンとライセンス登録状態を表示します。

2. DXライセンス登録

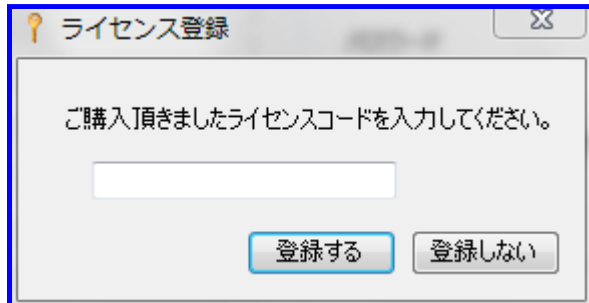
DXライセンスの登録は、[こちら](#)の手順で行います。

3. オンラインヘルプ

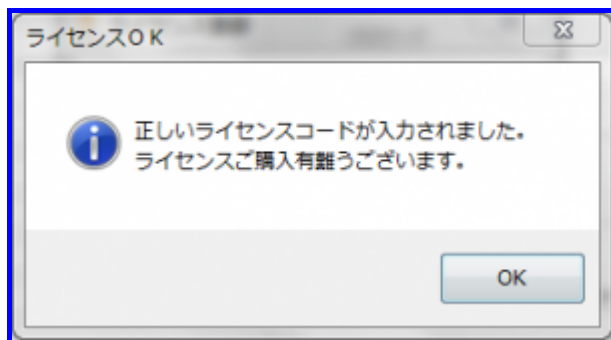
オンラインで最新の各種マニュアルを閲覧できます。

ライセンス登録

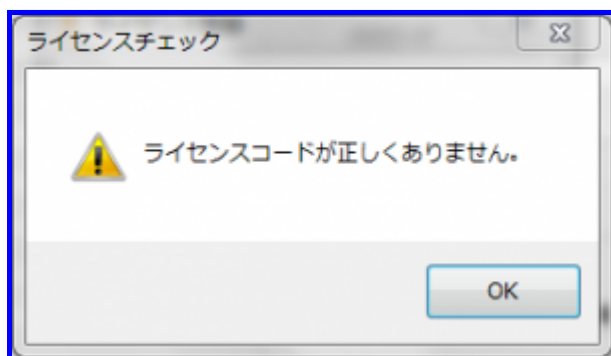
- 1) ライセンス登録ボタンをクリックします。
- 2) 下画面の入力欄にベクターで購入したライセンスコードを入力し、「登録する」をクリックします。



- 3) 正しいライセンスコードが入力された場合は、以下メッセージが表示されます。




- 4) 入力したライセンスコードが間違っている場合は、以下メッセージが表示されます。



自動実行機能設定

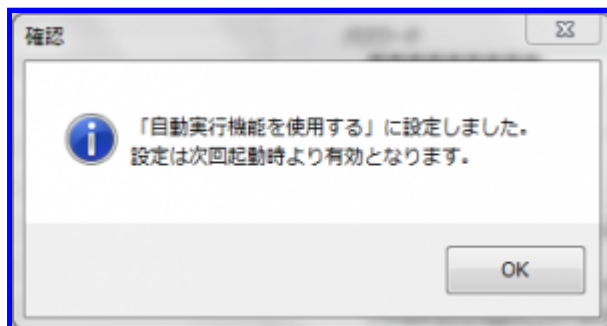
1. 自動実行機能を使用する場合

1) 画面左下の「自動実行停止中」の右横のをクリックします。




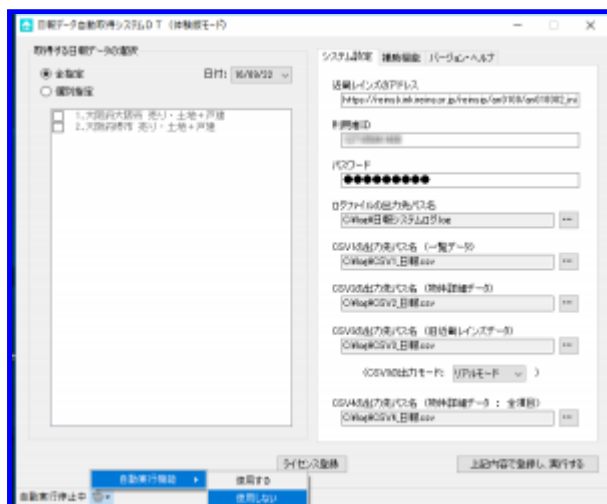
2) 「自動実行機能」－「使用する」を選択します。

3) 以下メッセージが表示されるので「OK」をクリックし、その後、システムを再起動して下さい。



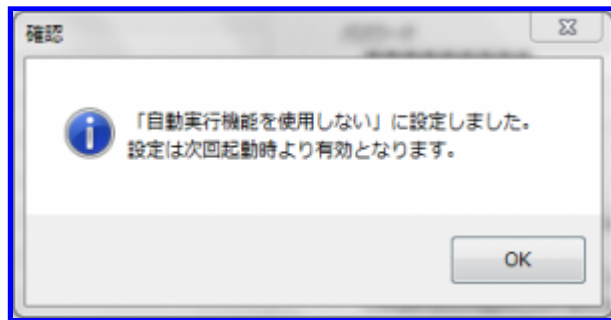
2. 自動実行機能を使用しない場合

1) 画面左下の「あと、〇〇秒後に自動実行されます。」の右横のをクリックします。



2) 「自動実行機能」－「使用しない」を選択します。

3) 以下メッセージが表示されるので「OK」をクリックし、その後、システムを再起動して下さい。



日報設定

日報設定については、[こちら](#)にマニュアルがあります。

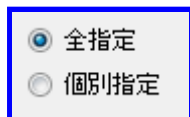
「第6章 会員情報 （1）ユーザー設定 1）日報情報の設定」のページを見ながら、日報設定を行って下さい。

※最低1つは日報を設定しないと、「日報データ自動取得システムD T」は利用できません。

取得する日報データの選択

1. 全ての日報を選択する場合

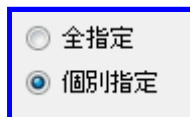
1) 全指定にチェックを付けます。



A screenshot of a selection interface with two radio buttons. The first radio button, labeled '全指定' (All), is selected and highlighted with a blue border. The second radio button, labeled '個別指定' (Individual), is not selected.

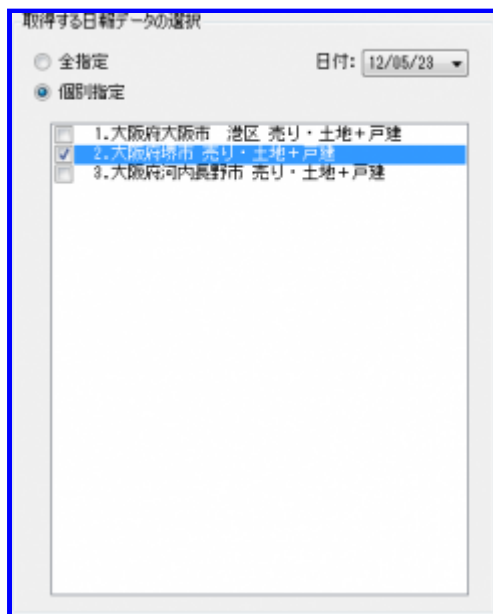
2. 個別の日報を選択する場合

1) 個別指定にチェックを付けます。



A screenshot of a selection interface with two radio buttons. The second radio button, labeled '個別指定' (Individual), is selected and highlighted with a blue border. The first radio button, labeled '全指定' (All), is not selected.

2) 日報名が表示されているところにチェックを付けます。



A screenshot of a selection interface titled '取得する日報データの選択' (Select report data to be acquired). It features two radio buttons at the top: '全指定' (All) and '個別指定' (Individual). The '個別指定' (Individual) radio button is selected. To the right of the radio buttons is a date selector labeled '日付:' with the value '12/05/23'. Below the radio buttons is a list box containing three items, each with a checkbox on the left. The second item is selected, indicated by a checkmark in its checkbox and a blue highlight. The items in the list are: '1. 大阪府大阪市 港区 売り・土地+戸建', '2. 大阪府大阪市 北区 売り・土地+戸建', and '3. 大阪府河内長野市 売り・土地+戸建'.

3. 過去の日報を出力する場合

日付を変更して、過去の日報を設定します。(初期状態では、前日の日付が表示されます。)

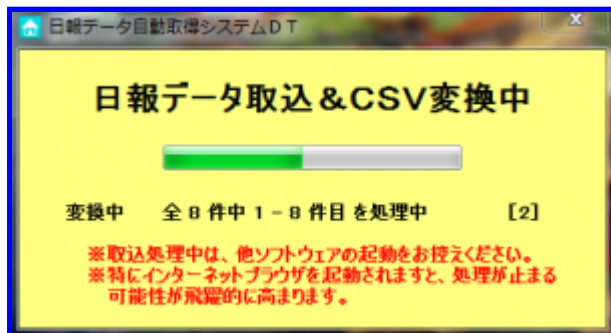


日付は、前日から10営業日前までを選択できます。

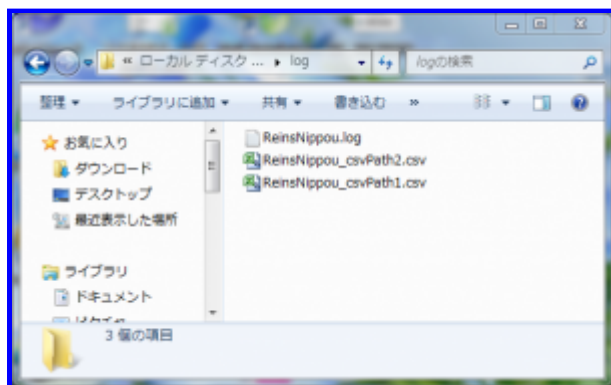
12/05/23
12/05/22
12/05/21
12/05/20
12/05/19
12/05/18
12/05/17
12/05/16
12/05/15
12/05/14

データ取り込み&変換実行

- 1) 「上記内容で登録し、実行する」をクリックします。
- 2) 近畿レインズ I P 型システムから日報データの取り込み&変換が行われます。



- 3) 出力された C S V データを確認して下さい。

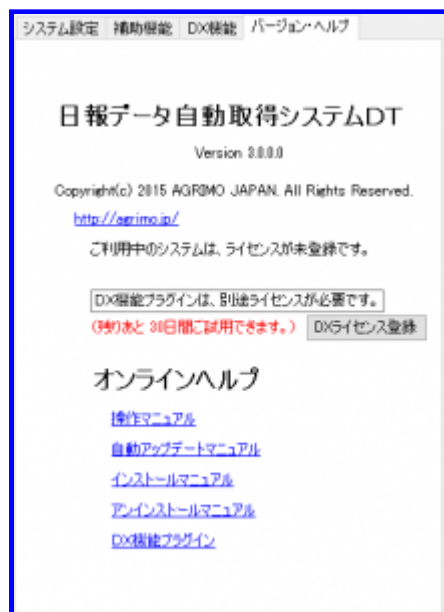


D Xライセンス登録

D X機能プラグインは、初期インストール時から30日間のご試用期間がありますが、試用期間満了後も継続してご利用される場合は、別途D Xライセンスをご購入いただく必要があります。

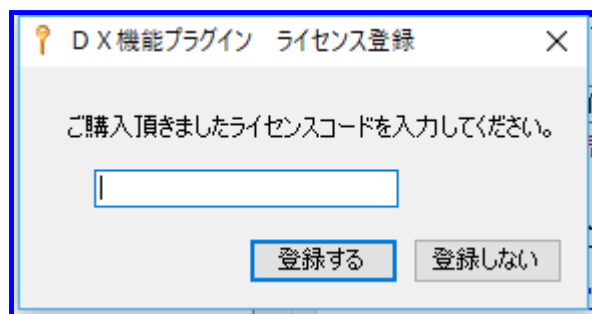
D Xライセンスの登録は、以下の手順で行います。

- 1) バージョン・ヘルプの画面を開きます。

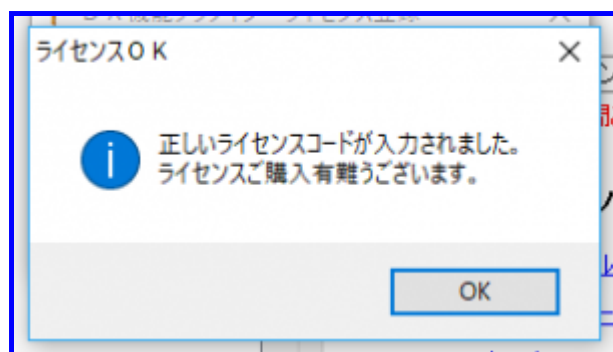


- 2) D Xライセンス登録ボタンをクリックします。

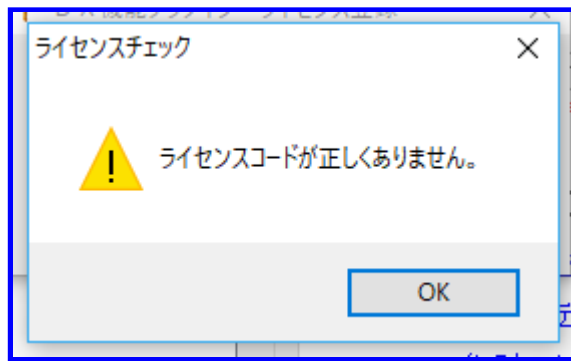
- 3) 下画面の入力欄にベクターで購入したD Xライセンスコードを入力し、「登録する」をクリックします。



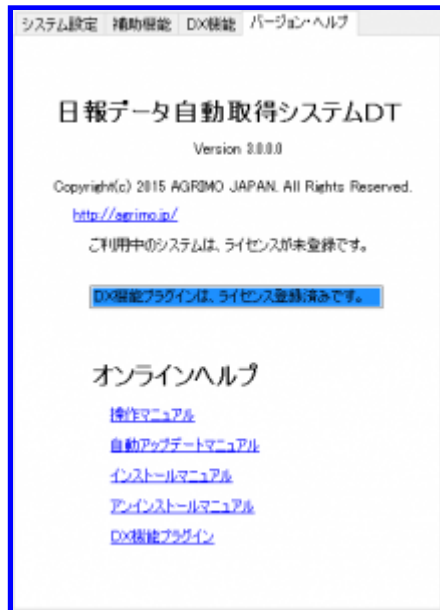
- 4) 正しいライセンスコードが入力された場合は、以下メッセージが表示されます。



- 5) 入力したライセンスコードが間違っている場合は、以下メッセージが表示されます。



6) DXライセンス登録が完了すると、以下のような表示に変わります。

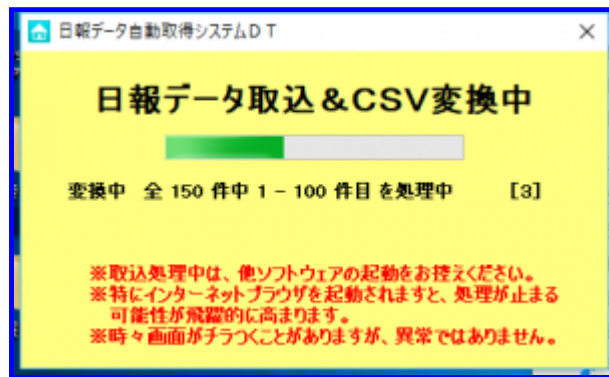


データ取り込み&変換実行&PDF処理

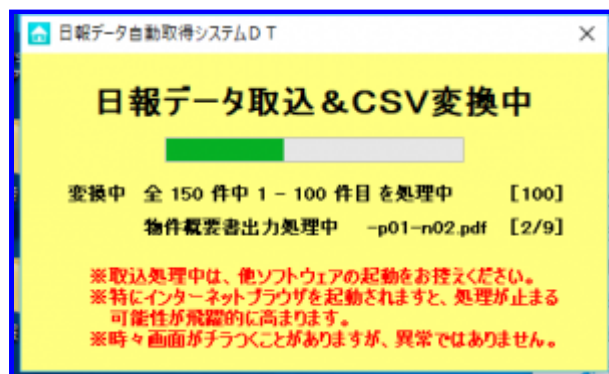
- 1) 「上記内容で登録し、実行する」をクリックします。
- 2) 近畿レインズ I P 型システムから日報データの取り込み&変換&PDF処理が行われます。

＜動作の流れ＞

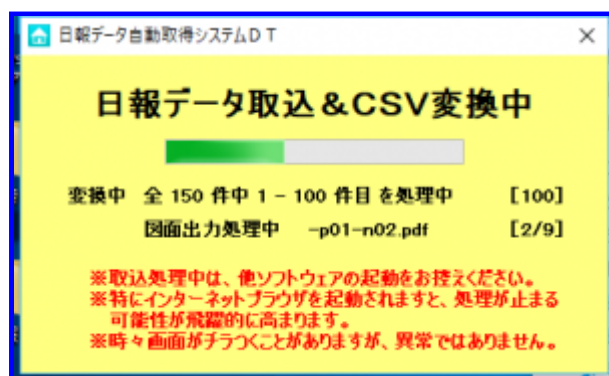
- A) 最初のページの物件データ（最大100件分）がCSVデータに変換されます。



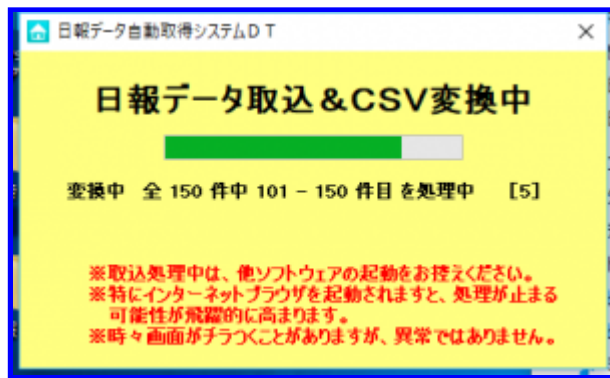
- B) 最初のページの物件概要書PDFがダウンロードされます。(※1ページ分、最大10ファイル)



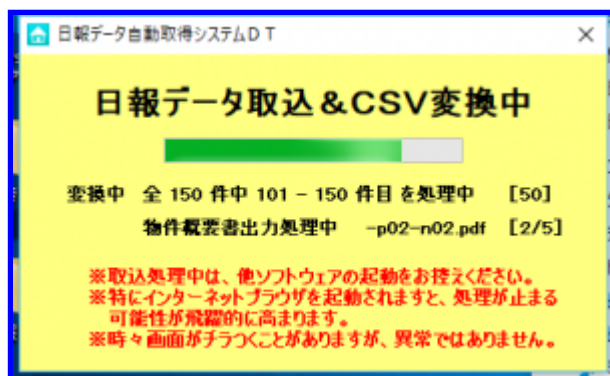
- C) 最初のページの図面PDFがダウンロードされます。(※1ページ分、最大10ファイル)



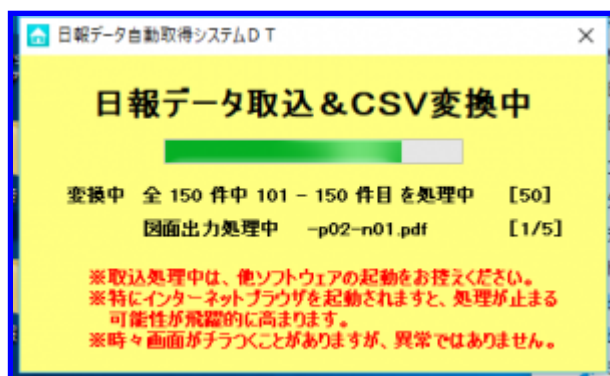
- D) 2ページ目の物件データ（最大100件分）がCSVデータに変換されます。



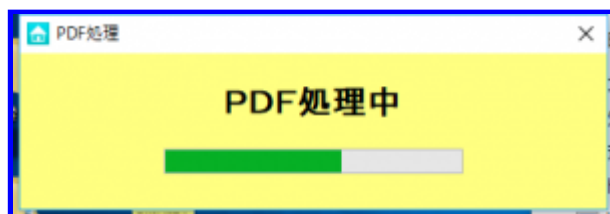
E) 2ページ目の物件概要書PDFがダウンロードされます。(※1ページ分、最大10ファイル)



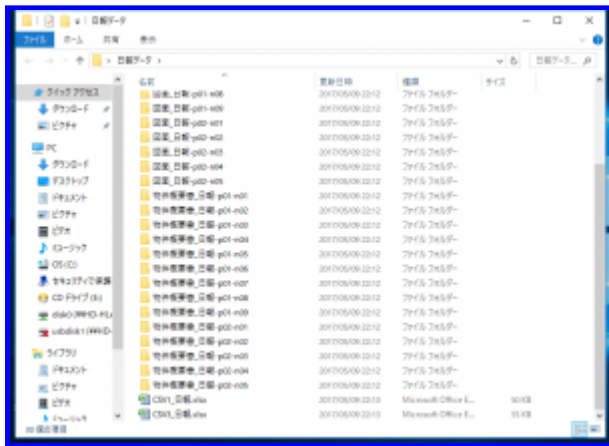
F) 2ページ目の図面PDFがダウンロードされます。(※1ページ分、最大10ファイル)



G) P D F 処理が行われます。



3) 出力されたC S V データを確認して下さい。



留意事項

物件概要書PDF、図面PDFをダウンロード中に画面がチラチラしますが、これは次の画面が一瞬現れて消えている為です。（※表示されたのをプログラムで瞬時に消しています。）

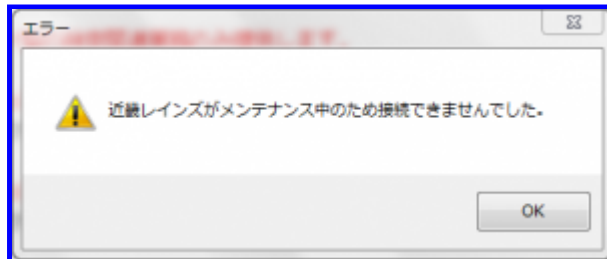


これは異常ではなく、この画面はWindowsセキュリティのために消すことができないため、このような動作を余儀なくされています。

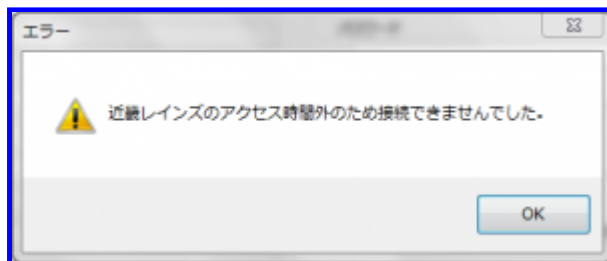
その他（エラー表示、製品チェック表示、清算チェック表示、実行中表示、ログ）

1. エラー表示

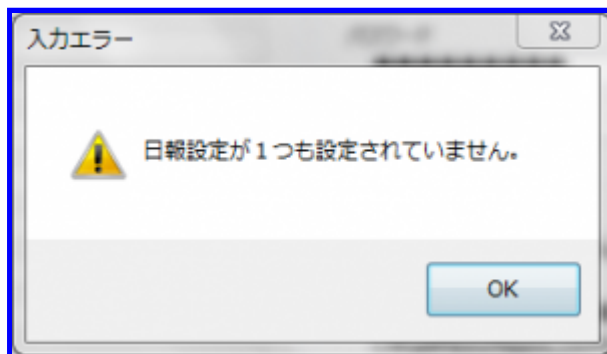
1) 近畿レインズがシステムメンテナンス中の時



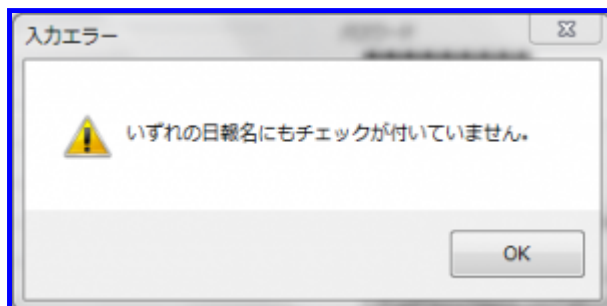
2) 近畿レインズがアクセス時間外の時



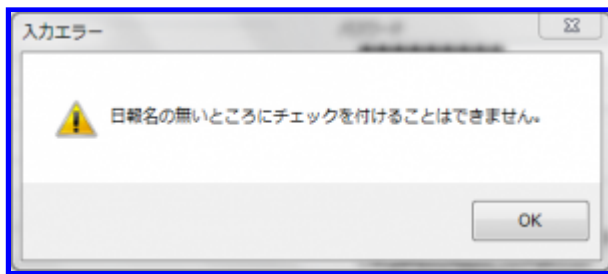
3) 「全指定」選択中で、1つも日報設定が取り込まれていない状態で、CSV出力を実行しようとした時



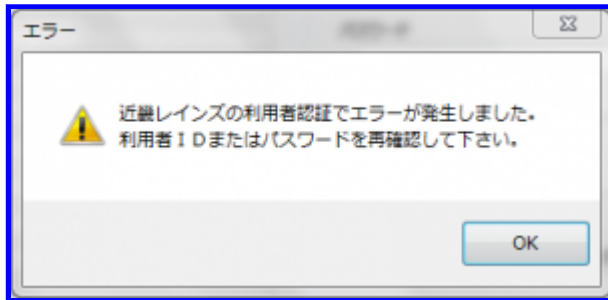
4) 「個別指定」選択中で、日報名に1つもチェックを付けない状態で、CSV出力を実行しようとした時



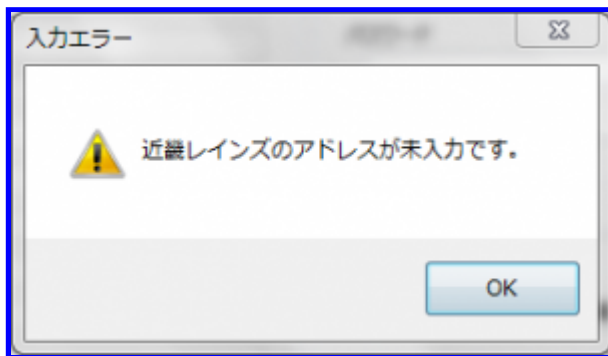
5) 「個別指定」選択中で、日報名が表示されていないところにチェックを付けた状態で、CSV出力を実行しようとした時



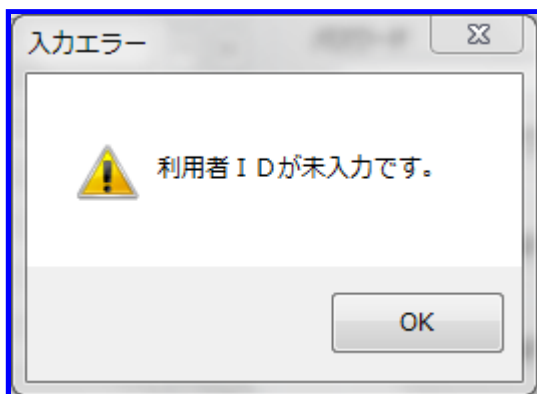
6) 利用者 I D、または、パスワードが間違っている時



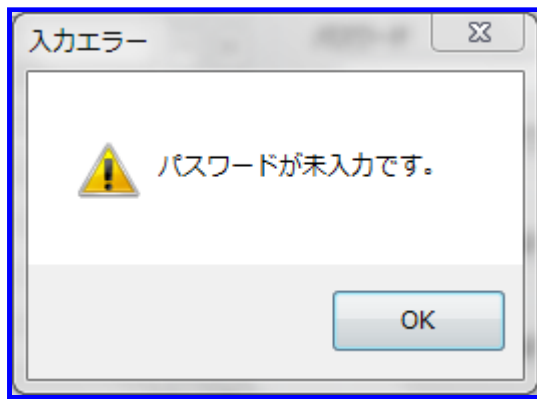
7) 近畿レイنزのアドレスが未入力の時



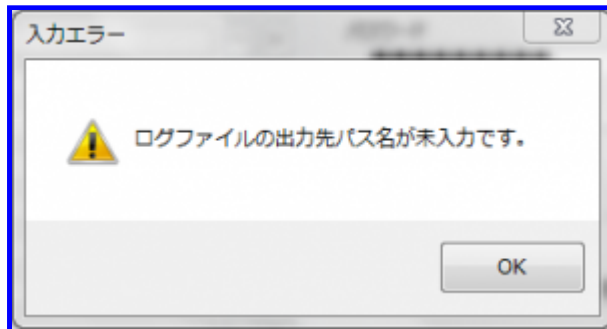
8) 利用者 I Dが未入力の時



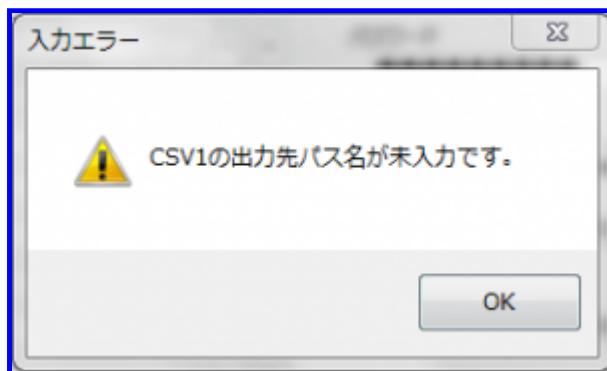
9) パスワードが未入力の時



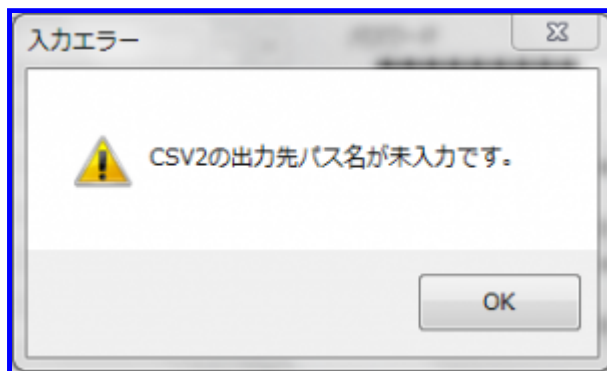
1 0) ログファイルの出力先パス名が未入力の時



1 1) C S V 1 の出力先パス名が未入力の時

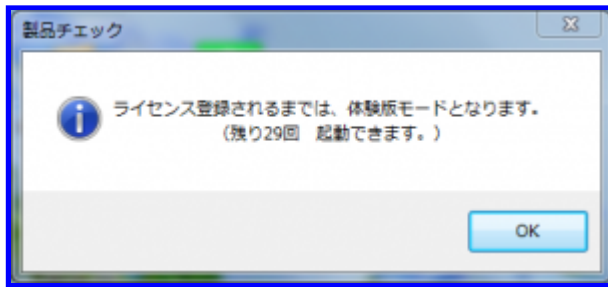


1 2) C S V 2 の出力先パス名が未入力の時

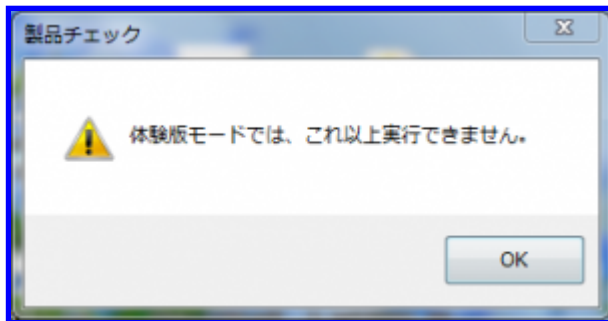


2. 製品チェック表示

ライセンスコードが未登録の時は、毎回起動時に以下メッセージを表示します。



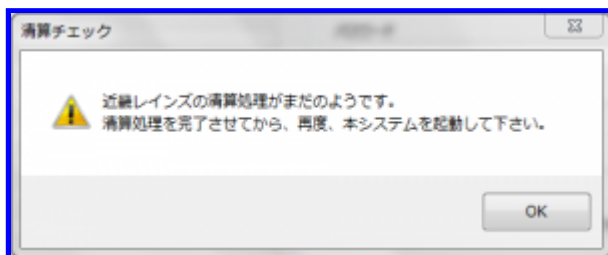
残り回数が0回になった時に起動すると、以下メッセージを表示します。ライセンスをご購入下さい。



3. 清算チェック表示

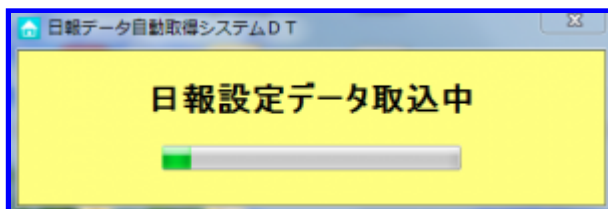
近畿レイنزの清算処理が未処理の時は、以下メッセージを表示します。

このメッセージが表示されている時は、先に近畿レイنزの清算処理を完了して下さい。

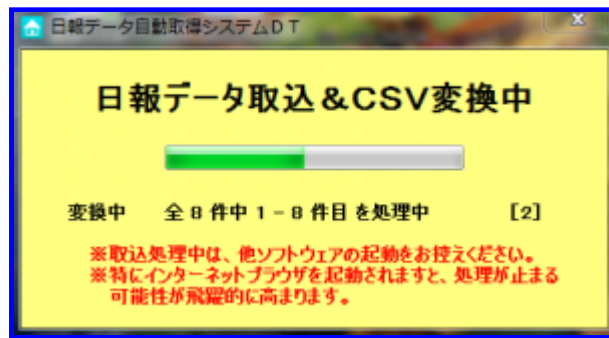


4. 実行中表示

1) 近畿レイنزから日報設定データを取込中の表示



2) 日報データ取込 & C S V変換処理中の表示



5. ログ

日時後ろに以下メッセージが出力されます。

1) 正常終了時

「日報データの取得処理が成功しました。」

2) 近畿レイنزがシステムメンテナンス中の時

「近畿レイنزがメンテナンス中のため接続できませんでした。」

3) 近畿レイنزがアクセス時間外の時

「近畿レイنزのアクセス時間外のため接続できませんでした。」

4) 利用者ID、または、パスワードが間違っている時

「近畿レイنزの利用者認証でエラーが発生しました。」

5) 内部エラー発生時

「日報名の取得中にエラーが発生し、処理を中断しました。」

「物件名の取得中にエラーが発生し、処理を中断しました。」

「日報詳細ヘッダの取得中にエラーが発生し、処理を中断しました。」

「日報詳細データの取得中にエラーが発生し、処理を中断しました。」

「物件名取得数のオーバーエラー」

「取得したHTMLからCSVデータに変換する処理でエラーが発生しました。」

「日報名一覧の取得中にエラーが発生し、処理を中断しました。」

「日報日付一覧の取得中にエラーが発生し、処理を中断しました。」

「日報日付一覧取得数のオーバーエラー」